

平成30年度 中央区運営方針

(区長: 吉村 浩)

計画

区・局の目標（何をめざすのか）
豊かなコミュニティのもと、暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりの実現

区・局の使命（どのような役割を担うのか）
豊かなコミュニティの形成や多様な協働を促進し、自律的な地域運営を支援することで、誰もがいきいきと健やかに暮らしやすく、子育てしやすい活力ある地域社会づくりを推進するとともに、人が集いにぎわう魅力あるまちづくりをめざす。また、引き続き、区民から信頼される区役所づくりに取り組む。

平成30年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）
中央区は、古くから大阪の経済・文化の中心地として内外から多くの人々が訪れ、歴史的・文化的資源が豊富に存在し、現在、市内で最も人口が増加しているとともに、ミナミを中心に国内外からの観光客が急増している。こうした中央区の強みを活かし、より多くの人々が集い、区内全域がにぎわう魅力のある暮らしやすいまちづくりをめざして施策・事業に重点的に取り組む。 ・商店会・企業等との連携・協働によるにぎわいづくりを通じて、多くの人々が魅力を感じるまちづくりを推進する。 ・地域の主体的な活動と連携・協働して、防災、防犯、まちの美化に取り組む、安心して子どもを産み育てられる環境豊かなコミュニティづくりや安全・安心で快適な生活環境の実現や教育環境の充実に向けた取組を推進する。 ・誰もがいきいきと健やかに暮らせるよう、福祉の充実や健康の増進、多様性の尊重に向けたまちづくりを推進する。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 人が集い、にぎわうまちづくりの推進】 商店会や企業等と連携・協働して中央区の持つ商店街の魅力や歴史的・文化的資源等を発信することにより、より多くの人々が集い、区内全域がにぎわうまちづくりを推進する。	【1-1 人が集い、にぎわうまちづくり】 ・中央区のまちのにぎわいを創出するため、ミナミにおいて、地元商店会等とのイベントの連携を行うとともに、商店会・企業等と協働し、観光・商業・歴史等、様々な情報を総合的かつ効果的に発信する、にぎわい情報サイトの機能拡充・積極的PRに努める。

主な具体的取組（30年度予算額）

【1-1-1 ミナミのにぎわい創出】（6,755千円） 中央区内で実施するイベントの認知度向上やイベント主催者間等の情報交換及びネットワークの構築、さらには大阪ミナミのにぎわいを創出するため、とんぼりリバーウォークを活用した取組を進める。 【1-1-2 にぎわい情報の効果的発信】（5,335千円） 中央区のまちのにぎわいを創出するため、地域団体や商店会、経済団体と連携したにぎわい情報サイト「大阪中心」を活用し、観光・商業・歴史等の情報を発信する。
--

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 地域社会における住民自治の拡充】 人と人とのつながりづくりを進め、地域コミュニティを再生させることにより、豊かなコミュニティを形成し、区民等による自律的な地域運営を促進する。	【2-1 豊かなコミュニティづくりの促進】 地域の特性を活かしたまちづくりや生活課題等の解決に取り組むことのできる豊かなコミュニティづくりを促進する。 【2-2 地域課題の解決に向けた多様な協働の促進】 地域ごとの特性や地域課題を把握したうえで、地域実情に応じたきめ細かな支援を実施する。

主な具体的取組（30年度予算額）

【2-2-1 地域実情に応じたきめ細かな支援】（59,057千円） 地域活動協議会が防犯、防災など様々な分野において、地域課題への対応を行うために、具体的な活動内容まで指定しない「一括補助金」を交付することにより、その自律的な活動と運営を支援する。

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 安全・安心で快適なまちづくりの推進】 市民・商店会・企業等との連携・協働により、すべての区民等に対して安全・安心で快適な生活環境を実現する。	【3-1 地域防災力の向上】 ・各地域での避難所開設運営訓練の充実に取り組む。 ・防災力の更なる強化及び防災関係機関との連携の強化を図る。 【3-2 街頭における犯罪の削減】 街頭における犯罪発生件数の約7割を占める自転車盗の減少を図るとともに、ひったくりや車上ねらいに対して、防犯意識の向上に取り組む。

主な具体的取組（30年度予算額）

【3-1-1 地域自主防災組織の強化】（2,606千円） 地区防災計画に基づき、自主防災組織等による避難所開設運営訓練やワークショップの充実を図る。 【3-2-1 街頭における犯罪発生件数の削減】（8,259千円） 警察とも連携しながら、自転車盗対策を推進し、より一層の防犯意識の向上を図る。また、犯罪抑止のため防犯カメラを整備する。
--

経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題4 子育て環境・教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して子育てできる環境が整備されている暮らしやすいまちづくりを推進する。 ・学校園の実情や地域の特性を踏まえ、「子どもの学びや成長」を応援する。 	<p>【4-1 乳幼児期の子育て支援】</p> <p>子育て支援室や保育コンサルジュなど、様々な課題やニーズに即した相談・支援体制を強化するとともに、地域主体の取組を支援する。</p> <p>【4-2 子どもの学びと成長の応援】</p> <p>学校園のニーズに応じ、区の特性や強みを活かした教育支援を行う。また、分権型教育行政を推進し、学校園の取組や子どもの学びを支援する。</p>
<p>主な具体的取組（30年度予算額）</p>	
<p>【4-1-1,2 相談援助による子育て支援等】（ - 千円）</p> <p>保育士、保健師、家庭児童相談員、臨床心理士、栄養士などの専門職を保健福祉センターに配置し、こども相談センター職員とも連携し、子育て相談内容に応じた支援を行うとともに、待機児童の解消に向けて、それぞれの保育ニーズに応じた相談や情報提供を行う。</p> <p>【4-2-2 学校園のニーズに応じた教育支援】（4,590千円）</p> <p>発達障がいや外国籍児童・生徒のサポート、英語力向上支援など学校園の取組や子どもの学びを支援する。</p>	
経営課題の概要	主な戦略
<p>【経営課題5 いきいきと健やかに暮らしやすいまちづくりの推進】</p> <p>高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、安心して暮らせるまちづくりを推進する。</p>	<p>【5-1 要援護者の把握・見守りの強化】</p> <p>高齢者や障がい者等誰もが安心して暮らしていけるよう、要援護者の把握を進めるとともに、地域や関係機関との協働により様々な見守り活動を展開する。</p>
<p>主な具体的取組（30年度予算額）</p>	
<p>【5-1-2 地域福祉見守り活動の強化】（18,863千円）</p> <p>見守り活動を強化するため、地域や関係機関と連携して「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」を進め、新規の対象者を把握する。また、研修会等で地域福祉コーディネーターのスキルアップを図る。</p>	

「市政改革プラン2.0」に基づく取組等（様式3）

主な取組項目	取組内容
<p>【国民健康保険料の未収額の圧縮に向けた取組の強化】</p>	<p>滞納者に対する財産調査及び支払能力判明時の滞納処分強化 他保険加入者への届出勧奨など資格適正化の強化 口座振替勧奨の強化 未収額を増やさないためのきめ細やかな納付相談や効果的な納付督促の実施</p>
主な取組項目	取組内容
<p>【区民が区政運営に参加・参画する仕組みのさらなる充実】</p>	<p>区政会議の運営についての効果的なPDCAの実施 区政会議と地域活動協議会との連携 これまで実施してきた様々な取組を継続して実施 区政情報の発信</p>
主な取組項目	取組内容
<p>【区民サービスの向上と効率的な区行政の運営の推進】</p>	<p>総合行政の窓口としての機能の充実 庁舎案内や窓口サービスにおけるサービス向上 区役所事務についての標準化・BPRの計画的推進 自主的・自律的なPDCAサイクル徹底</p>
主な取組項目	取組内容
<p>【歳出の削減と歳入の確保に向けた取組の強化】</p>	<p>庁舎等の維持管理費削減の徹底 歳入の確保に向けた取組</p>

自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

・39項目の具体的取組の達成状況は、29項目が「目標達成」、8項目が「目標未達成」、撤退基準未達成は2項目となっている。また、13項目からなる「アウトカムの達成状況」については、9項目が「順調」、4項目が「順調でない」となっている。また、「戦略のアウトカムに対する有効性」については、全13項目が「有効であり、継続して推進」となっており、取組は概ね順調に進捗したと認識している。

・「にぎわいスクエア」の開催や「にぎわい情報サイト」を活用し、商店会や企業等との連携・協働を通じて、より多くの人が集いにぎわうまちづくりを推進することができた。引き続き、商店会や企業等と連携し、中央区の持つ商店会の魅力や歴史的・文化的資源等の情報を発信していく。

・これまで地域活動協議会を支援してきた結果、自立的な活動は順調に進んできている。ただ一方で、運営面においては一部の担当者に負担が集中し、担い手の確保という側面からも、地域活動協議会の認知度を高め、若い世代をはじめとする多くの住民に対し地域活動への参加を呼び掛ける必要がある。

・「地区防災計画」に基づいた避難所開設運営訓練等が全域で実施され、着実に地域自主防災力の強化は進んできている。今後も事業所やマンション住民が多い区の特徴から自助・共助による自主防災の啓発を進めていく必要がある。また大阪府北部地震での課題等を踏まえた区の防災対応力向上のために、引き続き防災関係機関等との連携を強化していく必要がある。

・防犯カメラの整備などを進めることにより、街頭における犯罪は減少している。今後も防犯カメラの整備を進めることで、犯罪の抑止効果を高めていく必要がある。また、街頭における犯罪の約6割を占める自転車盗の被害防止を図るため、引き続き防犯意識向上に向けた取組を継続していく必要がある。

・地域住民や企業等と協働し、環境浄化活動「橋洗いブラッシュアップ大作戦」を年9回実施し、参加人数も昨年度より大幅に増加した。環境浄化に取り組む団体は、年々増加しており区民のまちづくりへの参加意識は着実に定着している。

・子育てが地域の人や社会に支えられていると感じる保護者の割合は74.5%と順調に高くなっており、取組は有効である。引き続き子育て支援活動を充実させるための取組を進める必要がある。

・学校園のニーズに応じた教育支援について、区内小中学校長からの評価はいずれも90%以上と高くなっており、取組は有効である。引き続き、学校園の取組や区内の子どもの学びを支援していく必要である。

・「高齢者・障がい者等が安心して暮らし続けることができる」と感じる区民の割合は79.4%と、目標の80%を下回ったものの、ここ数年は順調に高くなってきており、引き続き地域における要援護者の見守り活動などに取り組む必要がある。

・「健康面での支援体制が充実してきている」と思う区民の割合は67.7%で、前年度の58.7%を大きく上回って目標を達成している。保健福祉センター実施のがん検診受診者数が減少しているものの、取扱医療機関での受診者を合わせ受診率では上昇傾向の検診種別もあり、また、在宅医療・介護連携の取組も進展してきていることから、経営課題全体に対しては有効に戦略を推進できており、今後も引き続き取組を進める。

解決すべき課題と今後の改善方向

・中央区は、住民の転出入が多く、新しく転入してきた住民、とくに若い世代やマンション居住世帯等においては、地域とのつながりが希薄で、地域のコミュニティ活動への参加への関心も低いことから、若い世代やマンション居住者をはじめ、より多くの人に、地域でのつながりづくりの大切さについて様々な機会を通じて啓発を行い、地域のコミュニティ活動への参加・参画を促していく。

・地域活動協議会の活動を区広報紙毎号に掲載することなどにより、地域活動協議会の認知度は上昇してきているが、地域活動協議会の認知度等の業績目標については、とくに若い世代やマンション居住世帯において、地域のコミュニティ活動への関心が薄い傾向にあり、こうした層へのアプローチを積極的に進めていく。

・担い手の不足、高齢化が進む中、地域への関心が薄い、若い世代やマンション居住世帯等に、身近な地域の活動にまず参加してもらい、地域活動の重要性を理解してもらい運営にも関わってもらえるようにする活動支援が引き続き必要であることから、若い世代等が参加したくなる魅力的な活動の機会づくりや、運営参画にもつなげる手法の支援を行うとともに、活動情報の効果的な発信を進め、多くの区民の参加を促す。

・高齢者・障がい者等が安心して暮らし続けることができると感じる区民の割合は順調に高くなってきており、各取組は有効であると考えられるが、計画指標の80%には達していないことから、取組の状況や実績・効果について地域や区民にさまざまな機会を通して分かりやすく広報周知を行う。